奈良市民だより

No. 363

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと、美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものにふさわしい自覚と誇りに生きましょう。

奈良は未来をひらくまち。青少年は健康で、はつらつと、正しく強い人間になりましょう。

奈良は福祉のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあいましょう。

奈良は清潔で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましょう。

奈良はのびゆくまち。市民の創意で、伝統と調和のとれた新しい住みよいまちづくりをしましょう。

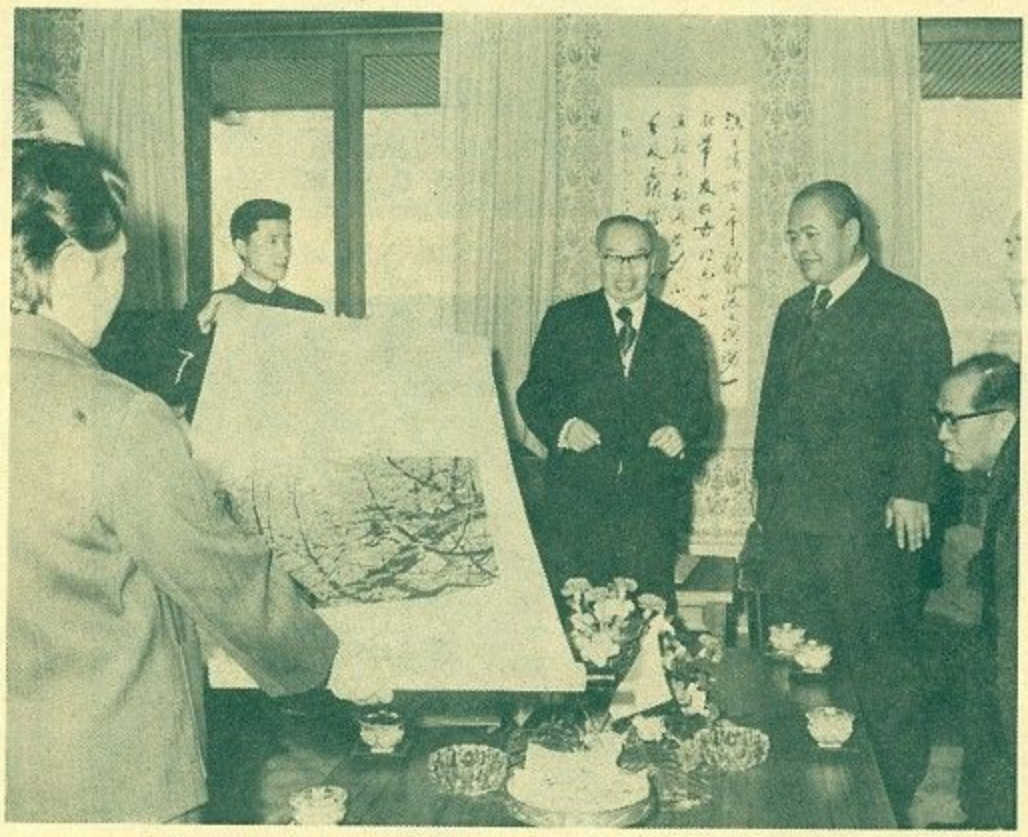
市民のうごき
2月15日現在（前月比増）

人口	266,300人	（696）
男	129,363	（421）
女	136,937	（275）
世帯数	83,602	（154）

中国代表として田総領事

新庁舎の完成を祝い鍵田市長を訪問

鍼灸医療導入に協力約束



中国から贈られた梅花の掛け軸によろこぶ鍵田市長（右から二人目）と田中国総領事（中央）

友好都市中国の西安市にかわり、中国代表を兼ね新市庁舎の落成を祝うため、中国・大阪総領事館の田平総領事が二月十七日鍾青夫人らとともに奈良市役所を訪れました。

午前十時半、鍵田市長、加藤市議会議長をはじめ市職員や市民ら多数が出迎えるなかを市役所に到着。

まず鍵田市長が一階にある平城京復元模型に案内、「唐の都長安（西安）にならってつくられた平城京です」と説明すると、田総領事は感慨深げにのぞきこんでいました。

ついで展示ホールに案内、シルクロード展示場や「唐三彩馬」など西安市から贈られた文物や西安市を紹介する展示を見たあと五階の応接室「西安の間」へ入りました。

鍵田市長は「千二百年昔、当時の〝市役所〟（左京職）があったと思われる場所に新しい市役所ができた。庁舎が大きくなったから意義があるのではなく、長安と親しくしていた平城京時代の〝市役所〟あとの地にもどったことに意義がある。そしてこの場所に移ると中国との友好の花が咲き、また〝西安の間〟ができたということに大きな意義を覚える。この部屋はみなさんの部屋です。みなさんが主人公ですからゆっくりとくつろいでください」ともてなしました。

田総領事は「新しい庁舎ができおめでとうございます。お祝いが遅れ申し訳ありません。前の庁舎を訪問したとき、新庁舎が完成したらお祝いに訪ねたいと約束しましたが、それがかなってうれしく思います」とお祝いを述べました。

そして満開の梅の花を描いた掛け軸が田総領事から鍵田市長に贈られました。田総領事は「この絵は燃えさかる火のように発展する奈良市を象徴しています。この花のように中日両国、西安奈良両市の友情の花がますます美しく大きく咲くことでしょう」と述べました。

鍵田市長は「中国からどしどし日本へ来てもらって、この奈良で、そして西安の間でゆっくり休んでもらってください。このことを中国の友人たち、西安の友人たちに伝えてください。そして西安の早柳を新庁舎に植えさせてもらったことも伝えてください」と話すと、田総領事は「必ず西安の人たちに伝えることを約束します」と述べ、終始なごやかに歓談しました。

また奈良市が計画している中国ハリの医療導入に話が進み、鍵田市長が「中国の鍼灸（ハリ、キュウ）医療を奈良に導入するため、できれば今春予定している訪中団の一行に研修医師団を派遣したいと考えている」と述べ協力を要請。これにこたえて田総領事は「実現するよう全面的に協力しましょう」と述べました。

このあと屋上から平城宮跡や東大寺など市内を展望、午後は飛火野で鹿寄せを楽しんだあと日中友好ゆかりの唐招提寺を参観しました。

西安市革命委員会から祝電

新庁舎の完成を祝って友好都市中国西安市の革命委員会から奈良市役所あてに二月八日つぎのような祝電が贈られてきました。

日本奈良市役所御中

貴市市庁舎ご落成にあたり謹んで熱烈に祝賀いたします。

私たちは中日両国政府の共同声明の原則に基づき、中日両国ならびに西安・奈良両市人民の友誼が日に日に発展することを強く信じております。

一九七七年二月八日

中国西安市革命委員会

協定書に調印

地元との話合い成る

南部土地改良清美事業

市内精華地区に市が建設を計画している南部土地改良清美事業にともなう環境と水質の保全並びに災害防止について市と地元住民との間で話し合いがまとまり、その協定書の調印式が二月二十四日午前十時から市役所応接室「西安の間」で行なわれ、鍵田市長と地元住民代表の柳田一雄精華地区自治連合会長がそれぞれ協定書に調印しました。

この協定書は九カ条から成り、①地域住民の生活環境の保全と、事業の円滑な推進をはかる。②水質の汚濁、土壌の汚染、悪臭の発生、土砂の流失、出水などにより地域住民の生活環境並びに農業生産に影響を及ぼすことのないよう対策を推進する――などが骨子となっています。

この事業は、米谷町の谷あい約十八万平方㍍に、清掃工場で処理された焼却灰および鉄分を除く破砕不燃物を十年間で約百万立方㍍を埋め立て、土砂と〝サンドイッチ工法〟によって埋め立て整地し、農用地などに利用しようとするもの。

椿井・飛鳥地区連絡所

旧庁舎に開設

新市庁舎への移転にともなって、今までの市役所に近かった椿井・飛鳥両地区住民の利便をはかるため、旧庁舎内（市内東寺林町三八）一階に椿井地区連絡所と飛鳥地区連絡所を新たに設置し、二月十五日から執務を開始しました。ここでは戸籍、住民基本台帳、転入・転出その他の届け出および諸証明の取次ぎ、市税、国民健康保険料、その他諸収入金の収納事務などを行ないます。電話は㉞二八七一～二番です。

西郊地区に中学校と幼稚園

四月に落成

四月開校をめざして工事を急ぐ第十三中学校舎

開発の進む市西郊地区の人口増加にともなって、四月から新たに第十三中学校（仮称）が開校することになり、いま工事が急ピッチで進められています。

また就園率日本一を誇る市の幼稚園では、昨年四月の開園以来富雄第三小学校に仮住まいしていた富雄第三幼稚園は四月に新しい園舎が完成します。

この第十三中学校（仮称）の開校で、市には小学校三十三校、中学校十三校、幼稚園三十一園となります。

このように市学校建設公社では、人口急増で年々増加する就学児童・生徒らのため、教育施設の充実に全力を注いでいます。

昭和五十一年度中の学校・幼稚園の新設、増築はじめ、体育館などの付属施設の工事は二十八校・園にのぼっています。

四月に開校する第十三中学校（仮称）は、垂仁天皇陵の南西で、西に雲雀ケ丘、南に離宮ケ丘の住宅地がある高台で、遠く若草山も望むことができます。またさきに開校した六条小学校とは約五百㍍の距離にあります。

【第十三中学校】奈良市平松町。敷地面積三万四百七十二平方㍍。鉄筋コンクリートづくり三階建て、延床面積四千六百二十五平方㍍、普通教室十五、特別教室七のほか管理諸室。

【富雄第三幼稚園】奈良市中町二八二一一。敷地面積四千百二十六平方㍍、鉄骨平家建て、延べ床面積五百九十八平方㍍、保育室三、リズム室一のほか管理諸室。

森本一男議員

奈良市議会議員森本一男氏は、二月十五日午前七時三十分脳いっ血のため西奈良中央病院で逝去されました。

森本氏は昭和三十年五月奈良市議会議員に初当選。以来現在まで連続六期つとめられ、この間、地域開発調査特別委員、自然流下水源導水特別委員長、議会運営委員長、教育厚生副委員長・同委員長として市政に大きく貢献されました。また全国市議会議長会表彰や同特別表彰など数多くの表彰を受けられました。

大正七年三月十五日生れの五十八歳。市内八条町。

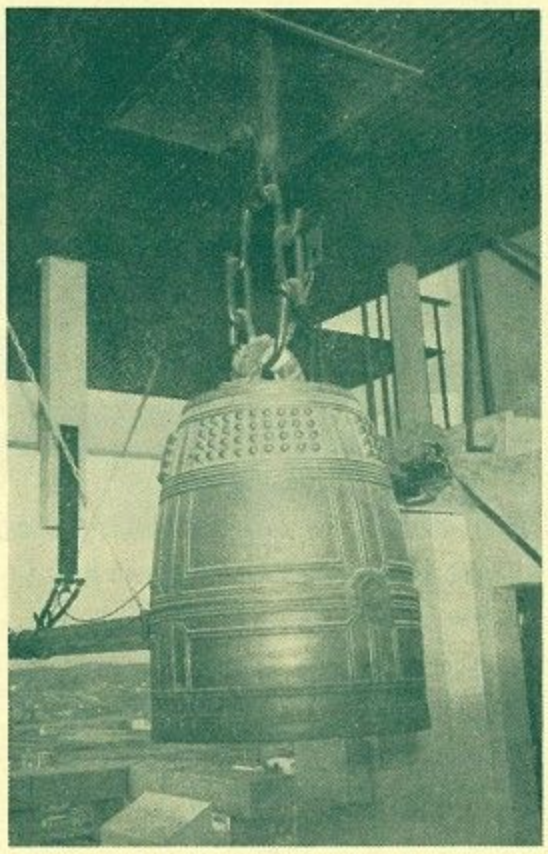
発行＝奈良市役所広報公聴課（奈良市北新町61の1）電話（34）1111番　〒630　毎月1日・15日発行　全戸配布　　印刷＝共同精版印刷株式会社

新庁内ごあんない

▲ 1,200人が収容できる正庁（大ホール＝6階）

▲ 西安の間（5階）

▲ 広々とした窓口（1階市民課）



▲ 新天平文化の響きを伝える「天平の鐘」（塔屋3階）

▶ 書類搬送もベルトコンベアで（1階市民課）

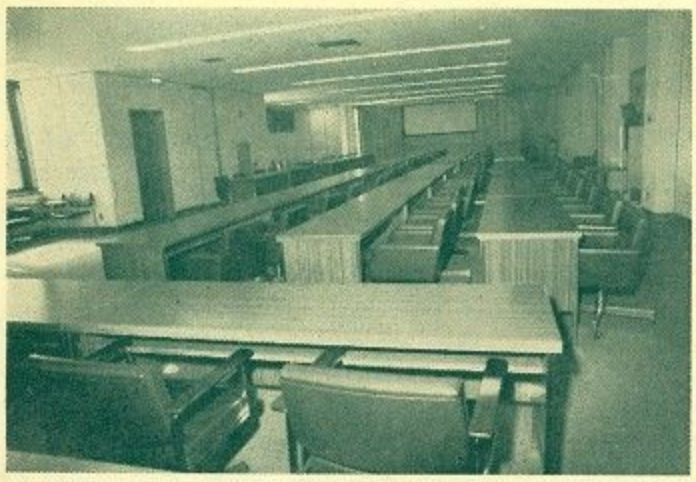
▶ 便利な窓口（2階福祉第一課）

▲ 玄関ロビーに設けられた市民憩いのホール（向うが展示ホール）

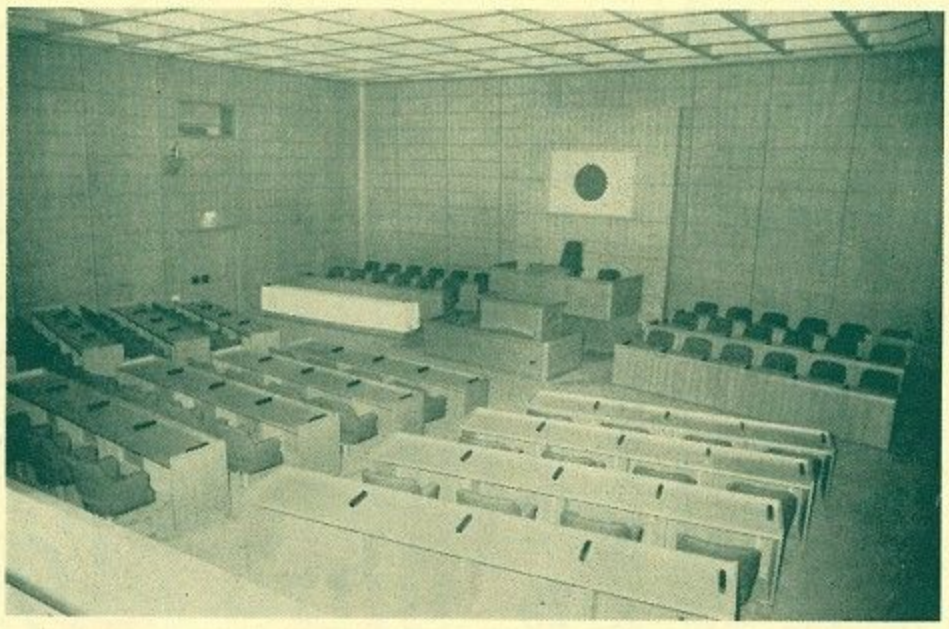
▲ 展示ホール（1階）

▲ 地下に設けられた「平城道場」

▲ 500台が収容できる大駐車場



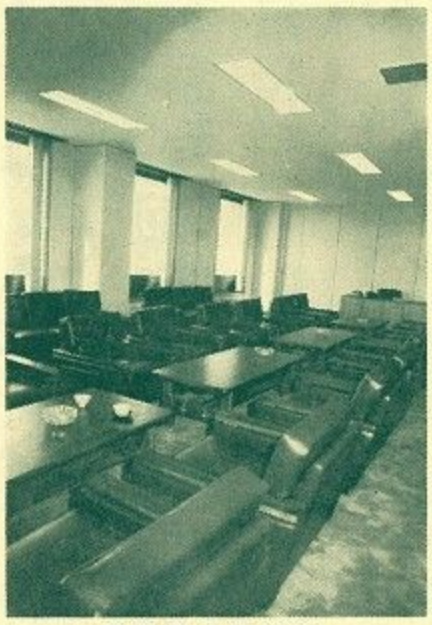
◀議会大会議室（3階）



◀市議会議場（3階）

◀お年寄りにくつろいでもらう老人談話室（2階）

車イスの方も使えるトイレット室▶（1階）



▲議員控え室（2階）

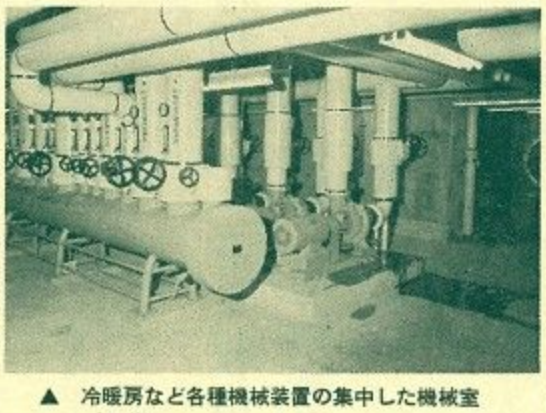
▲玄関前の大噴水池（屋上から）

▲ベビーベッドも備えつけてある福祉相談室（2階）

▲全庁舎の機械機能を監視する中央監視盤室（地階）

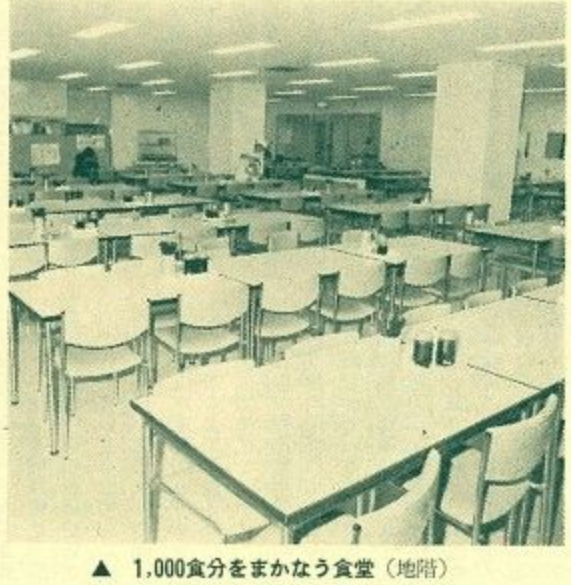
▲目の不自由な方を誘導する盲人用ブロック（玄関ロビー）

▲老人福祉関係の方に楽に利用してもらえるエスカレーター



▲冷暖房など各種機械装置の集中した機械室（地階）

▲来庁者の注目を集める平城京復元模型（玄関展示ホール）



▲1,000食分をまかなう食堂（地階）

市民のこえをきく

市政についての世論調査

奈良市は「新平城京において、新天平文化の花を咲かせん」を基本方針として、市政を推しすすめています。この基本方針に沿って諸施策は「すべて市民本位に」を基本姿勢としてつねに〝市民の声〟を反映するよう心がけ、昭和四十二年から市政懇談会を地域ごとに開くほか市民相談室を常設するなど、あらゆる機会と場を設けて公聴活動を行なっています。毎年実施する「市政についての世論調査」は公聴活動の最も有力な柱となるもので、調査に示された〝市民の声〟は市政推進の重要な資料として役立っています。

世論調査は、最も科学的な方法によるサンプル調査で、ランダムに選ばれた少数のサンプルを調べることによって、市民全体の意識を知ることができるとされています。昭和五十一年度の調査は、市民運動、国際友好都市との親善促進、青少年の育成などについて市民みなさんの意識・反応を調べたもので、全調査六項目・十九問にわたっています。調査の結果の大要はつぎのようになっています。

奈良は住みよい　75・5％

居住年数の浅い人にも評価高い

生活環境

生活環境の評価　奈良市では「日本一住みよいまちづくり」をめざして市政を推しすすめているが、市民は、奈良の住みごこちをどのように評価しているのだろうか。そこで「奈良市に住んで〝よかった〟と思うか」どうかを尋ねてみました。

〔住みごこちの年度別推移〕

地域63・6％、北部地域33・4％の順になっています。総体的に長年奈良に住みなれた人とか、西部地域のように整然と開発された新興住宅地の人に「住みよい」とする者が多く、特に北部地域では「よかったと思わない」が一人もない反面、「どちらともいえない」と「わからない」がそれぞれ33・3％となっており、開発途上にあるだけに、今後のまちづくりに期待をかけら理由を挙げてもらいました（複数回答）。最も多かったのは「自然環境がよい」が81・7％と断然他を引き離し、「公害が少ない」49・3％、「災害が少ない」42・6％、「古社寺・史跡・名勝が多い」41・6％とつづき、いずれも他都市に見られぬ歴史と自然の優位性を挙げているのが目立ちます。これは性別、居住年数別、地域別でもほとんど同じ傾向で、とくに「自然環境がよい」が北部地域で100％、他の地域でも80％前後となっているのがきわ立っていました。

これに対し「住んでよかった」調査同様に女性の方がよく知っていました。年齢別では各年代とも、八割以上の人が西安市を知っているのが目だっています。西安市とトレド市は三十代が、慶州市と小浜市は四十代が、郡山市は六十歳以上が、それぞれ第一位の周知度を示しました。総体的に奈良市から遠い西安市とトレド市が壮年層によく知られ、その反対に奈良市に近い慶州市と国内の小浜・郡山両市は高年層に比較的よく知られているという傾向にあります。

都市提携についての意見　国内、国外の特定の都市と友

友好（姉妹）都市との親善方法　友好（姉妹）都市との友好を深めていくには、どのような方法でおつきあいをしていけばよいかを七項目を挙げて、その中から三つを選んでもらいました。

「古都にふさわしい学術的な交流をおこなう」を希望した人が一番多く48・0％、このことから「歴史のある文化都市奈良」を前面におし出して親善交流をはかるべきだという意見が多いことがうかがえました。つづいて、「スポーツ親善試合を催す」が36・6％、「観光・物産展を相互に催す」が36・3％、「学校や幼稚園同士で友好関係を結ぶ」が33・5％などとなっていました。

年齢別でみると六十歳以上がすべての項目に対して平均した支持を示し、二十代の若年層は「スポーツ親善試合」を望む人が多く54・5％、四十代の中年層は「古都にふさわしい学術的な交流」57・4％と、それぞれ年代ごとの希望に特色をみせていました。

評判よい「ゴミ収集」

「福祉」も評価高まる

市の施策

よいと思う市の施策　日本一住みよいまちづくりをめざして、奈良市では種々の施策を行なっていますが、どの施策が市民に好評を得ているかです。

居住年数別では「ゴミの収集」「交通安全対策」「防火・防災対策」「医療・健康対策」では大差なく「上水道対策」「社会福祉」「幼稚園・学校などの施設」「公民館・スポーツ施設」といったものが長く住んでいる人に歓迎され、「下水道や排水設備」「道路の舗装・補修」「児童公園など子どもの遊び場」などは居住して間もない三年未満の人に高く評価されていました。

市へ希望する施策　最後に住みよいまちづくりのために、市民は市に対して、どのような市政を望んでいるかについて十五項目をあげ、その中から三つを選んでもらいました。

それによると、一番望まれているのはやはり「社会福祉」として特徴的と思われるのは「交通安全対策」「環境整備対策」「道路整備対策」「公害排除対策」への要望が目立って低いということで、この点、奈良市の立地条件の優位性に加えて施策の成果があがっていることが評価されたといえそうです。

これらの要望を年齢別に見ると、各年代にわたって強く打ち出されているのはやはり「社会福祉対策」で、五十代と六十歳以上の層に目立ち、いずれも55％内外、二十代の若い層でも43・6％に上り、つづいて三十代・四十代が30・％台を示しました。これについで強いのは「医療・健康対策」で二十代の若い層が40・6％と意外に関心が強くてトップ、その他の各年代でも39・4～32・0％の高率を示しました。その他、二十代では

調査方法　調査は全市選挙有権者名簿から、層化二段無作為抽出法によって調査の対象となる人（サンプル）千人を選び、その個々に調査票を郵送・回収する方法で行ないました。調査担当機関は㈱日本マーケティング・エージェンシーで、調査時期は五十一年七月二十六日～八月十日。

回収された有効調査票は五百三十五で回収率は53・5％でした。

質問とその答え

生活環境

◇あなたは奈良市に住んで「よかった」とお思いですか。

1.	よかったと思う	75.5%
2.	よかったと思わない	3.6
3.	どちらともいえない	17.9
4.	わからない	2.8
5.	答えない	0.2
	計	100.0

◇（前問で「よかったと思う」と答えた人に）どういうことから、そうお思いになりますか。（3つ選択）

1.	自然環境がよい	81.7%	(28.1%)
2.	公害が少ない	49.3	(17.0)
3.	災害が少ない	42.6	(14.7)
4.	古社寺・史跡・名勝が多い	41.6	(14.3)
5.	交通が便利	21.3	(7.3)
6.	子どもの教育によい	9.4	(3.2)
7.	人情がよい	3.2	(1.1)
8.	物価が安い	—	
9.	買物が便利	3.2	(1.1)
10.	市政がよい	9.4	(3.2)
11.	住みなれたから	26.7	(9.2)
12.	その他	1.7	(0.6)
13.	答えない	0.5	(0.2)
	計	290.6	(100.0)

◇（第1問で「よかったと思わない」と答えた人に）どういうことから、そうお思いになりますか。（3つ選択）

1.	環境がよくない	21.1%	(9.3%)
2.	公害が多い	10.5	(4.7)
3.	古社寺・史跡・名勝がありすぎる	10.5	(4.7)
4.	交通が不便	21.1	(9.3)
5.	子どもの教育に悪い	10.5	(4.7)
6.	人間関係がよくない	26.3	(11.6)
7.	物価が高い	57.9	(25.5)
8.	買物に不便	5.2	(2.3)
9.	いろいろな法律上の制約（古都保存法・風致地区など）が多すぎる	21.1	(9.3)
10.	その他	31.6	(13.9)
11.	答えない	10.5	(4.7)
	計	226.3	(100.0)

国際友好都市の促進

◇奈良市は歴史的あるいは国際的な視野から、つぎにあげる5つの国内・国外の都市と友好（姉妹）都市提携を行なっています。このうち、あなたが友好（姉妹）都市として知っている都市をあげて下さい。（複数回答）

1.	中国の西安市	85.0%	(33.5%)
2.	韓国の慶州市	48.4	(19.1)
3.	スペインのトレド市	39.1	(15.4)
4.	福井県の小浜市	52.2	(20.5)
5.	福島県の郡山市	20.2	(8.0)
6.	知らない	8.2	(3.2)
7.	答えない	0.7	(0.3)
	計	253.8	(100.0)

◇奈良市がこのように、国内・国外の特定の都市と提携を結ぶことを、あなたはどう思われますか。

1.	よいことだと思う	49.7%
2.	悪いこととは思わない	27.5
3.	別に何とも思わない	13.1
4.	必要とは思わない	5.8
5.	わからない	3.2
6.	答えない	0.7
	計	100.0

◇それでは提携した友好（姉妹）都市との親善をより一層深めるためには、今後どういうかたちでおつきあいをすすめていけばよいと思われますか。（3つ選択）

1.	学校や幼稚園同士で、友好関係を結ぶ	33.5%	(14.4%)
2.	市民代表者の交流訪問を盛んにする	20.7	(8.9)
3.	古都にふさわしい学術的な交流を行なう	48.0	(20.6)
4.	相互に定期的に芸能などを含めた交歓会を催す	22.3	(9.6)
5.	友好（姉妹）都市スポーツ親善試合を催す	36.6	(15.8)
6.	観光・物産展を相互に催す	36.3	(15.6)
7.	適当な場所に友好（姉妹）都市展示場をつくる	24.1	(10.4)
8.	答えない	11.0	(4.7)
	計	232.5	(100.0)

青少年の育成

◇奈良市は、青少年に汗を流す中で正しい日本人としての考え方を伝えていくための場をつくり、友情と健康のスポーツの振興、不撓不屈の精神の養成をはかる施策として、鴻の池運動公園、中央体育館、中央武道場、柏木公園、キャンプ場などの施設の整備に力を入れています。あなたは、このような青少年の育成のための諸施策に関心がありますか。

1.	非常に関心がある	15.2%
2.	関心がある	55.3
3.	あまり関心がない	25.4
4.	まったく関心がない	3.4
5.	答えない	0.7
	計	100.0

◇奈良市では、もとの奈良高校大柳生分校跡に「青少年土に生きる家」を昭和49年7月に開設しました。この施設は、大自然の中で、青少年が土に親しみながら、集団生活の中での心のふれ合いと友情を深めてもらう場となっています。あなたはこの施設のあることをご存知ですか。

1.	知っている	33.7%
2.	知らない	65.6
3.	答えない	0.7
	計	100.0

◇それでは、あなたはこの「市立青少年土に生きる家」について関心がありますか。

1.	非常に関心がある	6.9%
2.	関心がある	43.6
3.	あまり関心がない	42.6
4.	まったく関心がない	5.4
5.	答えない	1.5
	計	100.0

◇あなたは、奈良市が剣道・柔道などの武道を通じて中学生に道義と心身錬成の場として、各中学校に武道場を建設していることをご存知ですか

1.	知っている	55.3%
2.	知らない	44.1
3.	答えない	0.6
	計	100.0

◇あなたは剣道・柔道・なぎなたなどの武道に関心がありますか。

1.	非常に関心がある	10.1%
2.	関心がある	39.7
3.	あまり関心がない	41.1
4.	まったく関心がない	8.4
5.	答えない	0.7
	計	100.0

てみました。

その結果は、全体の75・5%が「よかったと思う」と答え「よかったと思わない」はわずかに3・6%で、市民四人の中三人が「奈良に住んでよかった」としています。これを男女別にみると「よかった」とするのは男性の73・7%、女性の77・1%とあまり差はみられないが、年齢別では二十代68・3%、三十代72・5%、四十代74・6%、五十代77・9%、六十歳以上87・1%と年齢が増すごとに多くなっています。居住年数別では、奈良に住んで二十六年以上の人の80・6%が「よかった」と一番高く、つぎに三年未満の極めて新しく住みついた人が78・8%と続き、以下八年～十五年の76・4%、十六年～二十五年の72・9%、三年～七年の65・3%の順になっており、昔から住んでいる人と、奈良市に住んで間もない人に良いイメージがもたれているのが今回調査の特徴といえます。

居住地域別では、旧市内に「住みよい」とする人が最も多く79・8%、ついで西部地域75・3%、中部地域73・8%、南部地域73・5%、東部

西安市への関心 85%

高まる友好親善への認識

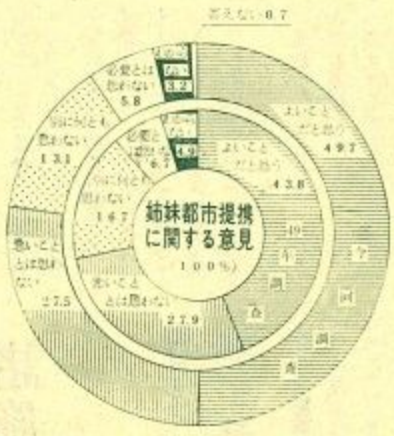
国際友好都市との親善促進

友好（姉妹）都市提携の周知度　奈良市は国際文化観光都市として、歴史的あるいは国際的な視野に立ち、国内外の都市と友好を深めるために友好（姉妹）都市の提携を行なっていますが、市民はそれをどの程度知っているか、一人ひとりに知っている都市をすべて挙げてもらいました。

調査の結果によると、最もよく知られているのは中国の西安市で85・0%、つづいて福井県の小浜市が52・2%、韓国の慶州市が48・4%となっており、つづいてスペインのトレド市が39・1%、福島県の郡山市が20・2%。前回（四十九年）調査と比較してみると、各友好（姉妹）都市に対する周知度はいずれも高くなっており、とくに小浜市の周知度が32・5%から52・2%に、またトレド市が19・4%から39・1%にそれぞれ急上昇しているのが目立ちました。

中国の西安市がとくによく知られているのは友好都市提携後、両市間の交流が毎年行なわれていることと、中国に対する国民的認識が高まっていることによるものと考えられます。また、小浜市は特産品の即売会とかスポーツの親善交流試合が毎年行なわれていることが関心を呼んでいるもので、またトレド市は一昨年の十月にトレド市長が奈良市を親善訪問されたのが契機になったと考えられます。

男女別では、全般的に男性がよく知っており、ただトレド市だけは前回（四十九年）



思わない」の賛成派の第一位は三十代で81・0%、ついで六十歳以上の78・5%、二十代の77・2%、四十代の77・1%、五十代が一番低く68・9%となっていました。

国内、国外の特定の都市と友好提携を結ぶことに対し市民はどう思っているかを尋ねてみました。

友好（姉妹）都市の提携そのものについては、好意的意見が多く、「よいことだと思う」という積極的賛成が49・7%、「悪いことだとは思わない」という消極的賛成が27・5%で、合計すると77・2%の人が程度の差こそあれ提携を是認しており、これは前回（四十九年）調査より5・5%増えています。また、「必要とは思わない」と否定的な人は5・8%、「別に何とも思わない」の無関心層は13・1%でした。

年齢別にみると、「よいことだと思う」「悪いことだとは思わない」の賛成派の第一位は三十代で81・0%、ついで六十歳以上の78・5%、二十代の77・2%、四十代の77・1%、五十代が一番低く68・9%となっていました。

〔住

開発途上にあるだけに、今後のまちづくりに期待をかけられているようです。

過去の調査と比較してみても、昭和四十八年では「住んでよかった」という人が54・3%であったのが、四十九年には66・1%、五十年には74・3%となり、今回はさらに75・5%と順調な伸びを示していました。

その理由　つぎに「住んでよかった」という人に、その理由を聞いてみました。

これに対し「住んでよかったと思わない」と答えた人（3・6%）が挙げた理由は「物価が高い」57・9%、など。前年調査と同様に「住みよくない」理由の上位が主に社会的条件で占められているようです。

質問とその答え

市民運動

◇市では市民参加によるまちづくり運動として、5つの実践運動を行なっていますが、あなたはこの運動をご存知ですか。（複数回答）

1. ごくろうさん・早寝早起き運動　87.1%（33.7%）
2. 植樹百万本運動　69.3（26.9）
3. 自分の家の前の清掃に責任をもつ運動　46.3（18.0）
4. もったいない運動（ムダ排除・廃物活用など）　36.3（14.0）
5. なまけものをなくす運動　12.0（4.6）
6. どれも知らない　6.9（2.7）
7. 答えない　0.4（0.1）
計　258.3（100.0）

◇あなたは、これらの市民運動に関心がありますか。

1. 非常に関心がある　8.6%
2. 関心がある　48.8
3. あまり関心がない　37.7
4. まったく関心がない　3.4
5. 答えない　1.5
計　100.0

◇（前問で「知っている」・「知らない」にかかわらずお答え下さい。）あなたは、市民運動である次の運動に参加の意思がありますか。

（1）「ごくろうさん・早寝早起き運動」
1. おおいに参加する　8.0%
2. 参加する　36.3
3. 参加しない　26.9
4. わからない　26.5
5. 答えない　2.3
計　100.0

（2）「植樹百万本運動」
1. おおいに参加する　12.9%
2. 参加する　45.0
3. 参加しない　14.4
4. わからない　25.6
5. 答えない　2.1
計　100.0

（3）「自分の家の前の清掃に責任をもつ運動」
1. おおいに参加する　32.5%
2. 参加する　53.6
3. 参加しない　4.5
4. わからない　7.5
5. 答えない　1.9
計　100.0

（4）「もったいない運動」（ムダ排除・廃物活用など）
1. おおいに参加する　19.4%
2. 参加する　45.6
3. 参加しない　10.1
4. わからない　21.9
5. 答えない　3.0
計　100.0

（5）「なまけものをなくす運動」
1. おおいに参加する　14.6%
2. 参加する　36.8
3. 参加しない　13.4
4. わからない　30.3
5. 答えない　4.9
計　100.0

◇では、あなたは市民運動である次の運動を実行しておられますか。

（1）「ごくろうさん・早寝早起き運動」
1. 実行している　38.3%
2. 実行していない　58.9
3. 答えない　2.8
計　100.0

（2）「植樹百万本運動」
1. 実行している　35.9%
2. 実行していない　59.4
3. 答えない　4.7
計　100.0

（3）「自分の家の前の清掃に責任をもつ運動」
1. 実行している　81.5%
2. 実行していない　16.3
3. 答えない　2.2
計　100.0

（4）「もったいない運動」（ムダ排除・廃物活用など）
1. 実行している　57.5%
2. 実行していない　36.6
3. 答えない　5.8
計　100.0

（5）「なまけものをなくす運動」
1. 実行している　34.6%
2. 実行していない　54.4
3. 答えない　11.0
計　100.0

市の施策

◇最近の市の施策の中で、とくに良いと思われる施策はどれですか。（3つ選択）

1. ゴミの収集68.4%（26.7%）
2. 交通安全対策　16.3（6.3）
3. 上水道対策　16.4（6.4）
4. 社会福祉　30.6（12.0）
5. 下水道や排水設備　13.1（5.1）
6. 道路の舗装・補修　19.1（7.5）
7. 児童公園など子どもの遊び場　8.0（3.1）
8. 幼稚園・学校などの施設　13.1（5.1）
9. 公民館・スポーツ施設　25.0（9.8）
10. 防火・防災対策　18.5（7.2）
11. 医療・健康対策　16.3（6.3）
12. その他　1.9（0.7）
13. わからない　7.7（3.0）
14. 答えない　2.0（0.8）
計　256.4（100.0）

◇奈良市では、日本一住みよいまちづくりをめざし「求道もって真に幸せなる文化のまち奈良を建設せん」の行政を推し進めています。あなたは、より住みよいまちづくりのために、市政にどのようなことを望まれますか。（3つ選択）

1. ゴミ処理対策　27.9%（9.5%）
2. 防火・防災対策　11.2（3.8）
3. 交通安全対策　15.9（5.4）
4. 社会福祉対策　43.0（14.7）
5. 自然保護対策　32.5（11.1）
6. 上水道対策　6.9（2.4）
7. 幼児教育対策　9.5（3.2）
8. 生涯教育対策　11.2（3.8）
9. スポーツ振興対策　6.4（2.2）
10. 消費者保護対策　27.3（9.3）
11. 環境整備対策　15.7（5.4）
12. 河川浄化対策　11.6（4.0）
13. 道路整備対策　15.3（5.2）
14. 公害排除対策　14.4（4.9）
15. 医療・健康対策　36.7（12.5）
16. その他　5.6（1.9）
17. わからない　0.9（0.3）
18. 答えない　1.1（0.4）
計　293.1（100.0）

〔市へ希望する施策〕

ているのはやはり「社会福祉対策」で43・0%、ついで「医療・健康対策」36・7%「自然保護対策」32・5%、「ゴミ処理対策」27・9%、「消費者保護対策」27・3%などが高位を占めていました。全体の傾向として、福祉をはじめ毎日の生活と健康、環境にかかわりの深い施策ほど要望が高く、前回（五十年）調査と比較すると「社会福祉対策」（五十年調査では39・6%）には依然として要望が高いが、他の諸施策に対する要望の比率は全般的に低くなっている傾向が見られました。

また、他都市の調査と比較

ました。その他、二十代では自然保護、公害排除、幼児教育、スポーツ振興対策、三十代では生涯教育、環境整備対策、四十代では防火防災、消費者保護、道路整備対策、五十代では河川浄化、上水道対策。六十歳以上ではゴミ処理、交通安全対策をそれぞれ上位に挙げ、年代別によるバラつきを見せました。これらから見ると身近な問題として高年齢層は社会福祉をとらえているのに対し、若年層は医療・健康・自然保護を強くとらえているようです。

（31・8%）それに「防火・防災対策」（45・5%）の四つ、南部地域では「上水道対策」（23・7%）と「医療・健康対策」（23・7%）の二つ、北部地域では「下水道や排水設備」（33・3%）と「公民館・スポーツ施設」（33・3%）の二つを挙げるなど、施策に対する評価の地域差が比較的はっきり出ていました。他の中部、西部両地域は飛び抜けてよいという施策はないかわりに、すべての施策について、まんべんなく評価をしていました。この結果、地域的に行政需要の多い施策の充実施行が非常に歓迎されていることがわかりま

市民のこえをきく

市政についての世論調査

ごくろうさん運動
早寝・早起き運動

市民運動

さすがによく知れ渡る

年ごとに増え9割近い

つづき

市民運動の周知度　奈良市では、現在市民参加によるまちづくり運動として五つの運動を行なっています。それを市民がどのように受けとめているかを調べてみました。その結果、七年前から提唱されている「ごくろうさん・早寝早起き運動」はさすがによく知れ渡り87・1%の人がこの運動をトップに挙げているのがわかりました。この運動については四十七年調査で61・0%、四十九年調査で76・9%、五十年調査で83・3%であったのから見ると、年ごとに市民に深く浸透していることがわかります。

それは他の「植樹百万本運動」(69・3%)、「自分の家の前の清掃に責任をもつ運動」(46・3%)、「もったいない運動」(36・3%)とつづき、五十一年にはじめたばかりの「なまけものをなくす運動」(12・0%)が最低で、どの運動も知らないという人は全体の2・7%に過ぎないことがわかりました。

年齢別では、二十代が五つの運動のいずれに対しても認知率が他の年代よりも低く、運動別の第一位は「ごくろうさん・早寝早起き運動」で五十代の93・5%、「植樹百万本運動」では六十歳以上の77・4%、「自分の家の前の清掃に責任をもつ運動」では六十歳以上の66・7%、「もったいない運動」では六十歳以上の50・5%、「なまけものをなくす運動」でも六十歳以上の22・6%と、いずれも高年齢層に深く浸透していますが、三十代以上では、概してどの運動にも平均してよく知られています。

地域別でみると「ごくろうさん・早寝早起き運動」が旧市内、南部、中部、東部の四地域で九割以上の高い周知率を示し、「植樹百万本運動」では南部、東部の両地域が八割以上と高い。また東部地域では「自分の家の前の清掃に責任をもつ運動」(六割)、「もったいない運動」(七割以上)、「なまけものをなくす運動」(三割以上)がいずれも他地域より高い周知度を示していました。

また、五つの運動とも居住年数が長い人ほどよく知っており、男性より女性の方によく知られていました。

運動への関心高い

参加・実行意思では〝清掃運動〟トップ

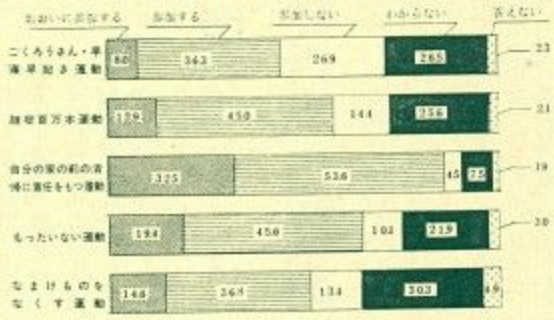
市民運動への関心度　そこで、これらの五つの市民運動に対する関心について調べて見た結果、「非常に関心がある」が8・6%、「関心がある」が48・8%でこれを合わせると市民の半数以上の57・4%の人がこれらの市民運動に対して関心をもっていることがわかりました。これに対し「あまり関心がない」が37・7%、「まったく関心がない」が3・4%と、無関心層を合せると41・1%となり、関心を持つ人と相当の開きがみられました。

年齢別にみると、五つの市民運動に対する周知度の低い二十代は関心も低く、年齢があがるにつれて関心が高くなっており、また居住年数の長い人ほど関心が高く、二十六年以上住んでいる人では「非常に関心がある」が13・6%、「関心がある」が51・9%となっています。

地域別では、関心のある人(「非常に関心がある」・「関心がある」)の率は東部地域72・7%と一番高く、ついで南部地域61・7%、中部地域60・0%、西部地域53・2%、旧市内50・1%北部地域33・4%の順になっていました。

市民運動への参加意思　そこで、これらの運動を知る、知らないにかかわらず、参加する意思があるかどうかについて調べてみました。最も周知度の高い「ごくろうさん・早寝早起き運動」への参加意思が案外少なく、「おおいに参加する」8・0%、「参加する」36・3%で参加意思をもっている人は44・3%であった。これに対して、「自分の家の前の清掃に責任をもつ運動」では、「おおいに参加する」が32・5%、「参加する」が53・6%で合わせて86・1%と参加意思が一ばん多く、つづいて、「もったいない運動」が65・0%、「植樹百万本運動」が57・9%、「なまけものをなくす運動」が51・4%と具体的に日常生活に利害関係の強い運動に参加意思が高く、「知っている」ということと「参加する」ということと必ずしも一致しないことが明らかになりました。

〔市民運動への参加意思〕



地域の分類

調査結果の分析の必要上、調査は全市域を六つに分類して行ないました。これは地域的特性、住民の職業、生活環境など共通性の濃い意識の分析に役立てるもので、つぎの地区から成っています。地域間のサンプル比重は変りません。

【旧市内】椿井・飛鳥・鼓阪・済美・佐保(一部)・大宮(一部)

【東部地域】精華・田原・大柳生・柳生・柳生・東里・狭川

【南部地域】東市・常解・明治・辰市

【中部地域】大安寺・都跡(一部)・佐保(一部)・大宮(一部)

【北部地域】平城ニュータウン

【西部地域】伏見・西大寺北・あやめ池・登美ヶ丘・学園南・学園北・富雄南・富雄北・富雄第三・鳥見・都跡(一部)・平城

諸施策への関心73%

子どものある人に強い

市民運動の周知度　奈良市では、現在市民参加によるまちづくり運動として五つの運動を行なっています。それを市民がどのように受けとめているかを調べてみました。その結果、七年前から提唱されている「ごくろうさん・早寝早起き運動」はさすがによく知れ渡り87・1%の人がこの運動をトップに挙げているのがわかりました。この運動については四十七年調査で61・0%、四十九年調査で76・9%、五十年調査で83・3%であったのから見ると、年ごとに市民に深く浸透していることがわかります。

それは他の「植樹百万本運動」(69・3%)、「自分の家の前の清掃に責任をもつ運動」(46・3%)、「もったいない運動」(36・3%)とつづき、五十一年にはじめたばかりの「なまけものをなくす運動」(12・0%)が最低で、どの運動も知らないという人は全体の2・7%に過ぎないことがわかりました。

年齢別では、二十代が五つの運動のいずれに対しても認知率が他の年代よりも低く、運動別の第一位は「ごくろうさん・早寝早起き運動」で五十代の93・5%、「植樹百万本運動」では六十歳以上の77・4%

小浜＝慶州

鍵田市長の仲介で 姉妹都市縁結び

奈良市の姉妹都市である韓国・慶州市と小浜市との姉妹都市縁組みが、奈良市の仲立ちで実現しました。

調印式は二月十三日、小浜市中央公民館で行なわれ、浦谷小浜市長と崔泰鎮慶州市長が盟約宣言書と協定書に調印して、両市の友好を誓い合いました。

式には慶州市から崔市長をはじめ韓相根文化観光局長ら六人、小浜市からは浦谷市長、松井市議会議長や、奈良・小浜両市が姉妹都市提携した当時の鳥井元小浜市長ら約百人の市民代表、こんどの提携の仲立ちをした奈良市からは鍵田市長、加藤市議会議長が出席しました。

浦谷、崔両市長が「交流と友好を深め、親善を促進することでアジアの平和に貢献することを確信し、両市間の姉妹都市盟約を締結する」と両国語で書かれた宣言書と、具体的交流の記された協定書に調印しました。

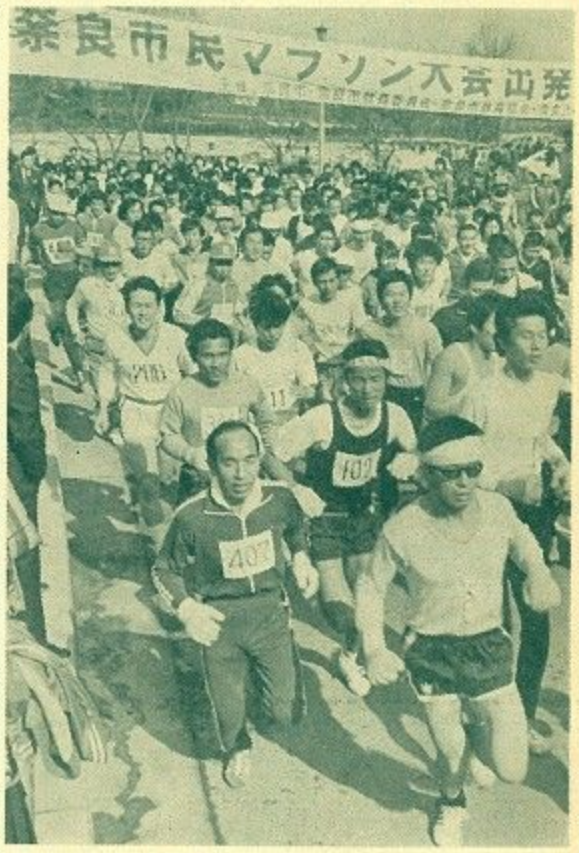
このあと浦谷小浜市長は「鍵田市長のお力添えによって、小浜市政はじまって以来の大事業である慶州市との縁組みができて喜びにたえない。慶州市とは幅広い分野での友好交流を末永く続けたい」と喜びを語り、崔市長も「慶州市は仏教文化を通して千数百年前から小浜市とは交流があった。大陸文化が慶州を通じ小浜から奈良へと渡った。祖先が結んでいた関係を、現在新しい理念のもとに再現するのは当然のことで、奈良市とともに友好発展を望む」とあいさつしました。

鍵田市長が「慶州と小浜は一日も早く結ばれるべきであるとの考えから、両市の縁組みの仲立ちをやらせてもらった。きょうそれが実現して感慨無量である。奈良・慶州はすでに民間六団体が姉妹関係を結び、活発な交流を行なっているが、小浜・慶州間もできるだけ幅広い友好交流をやってほしい」と両市の縁組みを祝福したあと、三市長が固い握手を交わし合いました。

式典終了後、調印を記念して式場前広場で鍵田市長が八重桜、崔市長がイチョウ、浦谷市長がモミジの苗木をそれぞれ植樹しました。

三市友好の握手（正面左から鍵田奈良・崔慶州・浦谷小浜各市長＝小浜市中央公民館で）

老若入りまじって388人がスタート



75歳の老人も 市民マラソン

388人が健脚競う

第十一回市民マラソン大会が、「建国記念の日」の二月十一日に三百八十八人が参加して開かれました。今年は例年の春日奥山コースを変更して外環状線コース。市中央武道場前で開会式のあと午前十時半に中央武道場前をいっせいにスタート、第一・二・三と中学駅伝の四部に分かれ健脚を競いました。

第二部に出場した市内西筧鉾町吉川才三郎さん（75歳）はこの日の最高齢者、若者に負けじと寒風をついて元気いっぱい走りぬきました。

各部入賞者と入賞校（三位まで）はつぎのとおりです。（敬称略）

【第一部】陸上競技協会登録者（13キロ）①今宿裕一（磯田ク）②山本一逐（御所工OB）③松井政夫（奈良ク）

【第二部】第一部を除く市内在住・在勤・在学者（6キロ）①森勝宏（会社員）②仮屋道明（王寺工）③岡本吉弘（会社員）

【第三部】第二部該当者のうち十六歳以上の女子（3キロ）①菱田香代子（奈良商）②玉置由美（同）③森田まゆみ（同）

【中学駅伝】（13キロ）①三笠中A②都南中A③三笠中B

特選に八人

文化財愛護の作文

奈良市が昨年九月文部省から文化財保護モデル地区に指定されたのを機に、市教育委員会では市民のみなさんに、よりいっそう文化財愛護の心を持ってもらおうと、文化財に関する作文を募集していましたが、昨年十一月三十日に締切り、六十六点の応募作品を審査した結果つぎの方々が特選になりました。（敬称略）

一般＝長浜紅（西笹鉾町）▽小学校二年＝中尾裕二（女子大附小）▽同三年＝坪井克志、松村みち子（以上済美小）▽同四年＝田村文英（飛鳥小）▽同五年＝森田純子（鼓阪小）▽同六年＝影山知子（飛鳥小）▽中学校＝倉田佳子（春日中）

長寿祈って

おもちつき

和楽園老人大喜び

養老施設和楽園（紀寺南方町、植田美三郎理事長、百五十人入居）で、二月二十一日午前十時半から恒例のもちつきとぜんざいの会が開かれました。お年寄りに好きなぜんざいを存分に食べてもらおうと、今年は鍵田市長が贈ったモチ米、あずき、砂糖などで行なわれたもので、今年で十回目、今ではお年寄りの楽しい年中行事の一つとなっています。

お年寄りが一階調理室に集まってうれしそうに見守るなか、鍵田市長らがきね音も高くもちをつきあげました。このあとつきたてのやわらかいもちをぜんざいにして、舌つづみをうちながら「うまい、うまい」と大よろこび。鍵田市長はお年寄りに「新しい庁舎で、今までの三倍の努力で市民サービスにつとめ、お年寄りを大切にする福祉をすすめます。みなさんも相手のためにつくす心でお互い仲よくし、長生きしてください」と励まし、さらにお菓子をみんなに贈りました。

鍵田市長もキネ振りあげて景気よくもちつき

五徳みそ

再受講者はご遠慮なく申込みを

五十一年度のみそづくり講習会は新規受講予定の一万人はすでに完了しましたが、再受講予定三万人はまだ余裕がありますので、希望者はどしどし申し込んでください。

講習会は大宮・西部の両みそ会館で毎日午前・午後の二回行なっています。約三時間の講習で無公害の五徳みそ十瓶を持ち帰れます。

講習会参加希望者は市生活安定課（北新町）、各出張所、南部・富雄・高円・登美ヶ丘各公民館にある用紙で申し込んでください。とくに今月上旬に申し込むと月の内に受講できます。市内の成人ならグループでも個人でも申し込めます。受講料は一人千五百円、容器は必ず持参してください。

春を呼ぶ "お水取り"行事

12日夜がクライマックス

千二百年来欠かさず厳修されてきた東大寺修二会（お水取り）が二月二十日から試別火（ころべっか）に入り、三月一日から十四日にかけて本行が行なわれます。

この行事は東大寺の僧＝練行衆（れんぎょうしゅう）＝が俗界から離れ、二月堂本尊に過去に犯した罪を謝して罪障の消滅とともに天下泰平、天候順調、五穀豊穣（ほうじょう）、人類幸福を祈るものです。

この間三月二日には、姉妹都市の福井県小浜市の鵜の瀬でお水送りの神事が行なわれます。これにより若狭から送られた水は奈良に通じているといわれ、十二日の深夜に二月堂下の若狭井で送られてきた水（香水＝こうずい）をくみ上げ本尊の十一面観音に供える儀式が行なわれ、行は最高潮に達します。

「おたいまつ」は練行衆がおつとめのため上堂する際、道明りとしてたいまつを用いるところからいわれるもので、一日から十四日までの毎夜午後七時（十二日は午後七時三十分、十四日は午後六時三十分）から行なわれ、堂の回廊でたいまつが大きく振り回され火の粉が降るように落ちる情景は壮観そのもので、とくに十二日は大たいまつ（かごたいまつ）がたかれ、春を呼ぶ火の祭典といわれます。

行を終わった翌十五日は達陀帽（だったんぼう）といって、だったんの行法に練行衆がかぶった帽子を幼児にかぶせると、健康で賢明に育つというので子供づれの参詣客で堂辺はにぎわいます。

市県民税の申告は15日まで

昭和五十二年度市・県民税の申告期限は三月十五日までとなっています。いま市民税課で申告を受け付けていますので、つぎに該当する方は早目に申告してください。

◎昭和五十二年一月一日現在奈良市に住んでいて、昭和五十一年中に所得があった人

◎市外在住者でも、市内に事務所や自分が住むための家屋敷を持っている人

◎給与所得者で地代・家賃・配当・原稿料など給与以外の所得があった人

◎給与所得者で給与支払者から給与支払報告書が提出されない人

申告書は市民税課、各出張所・連絡所にあります。なお税務署へ所得税の確定申告をした人は、市・県民税の申告をする必要はありません。

市中央体育館

市民スポーツ開放日

◉卓球＝三月十九日（土）午前は自由、午後は時間制。

◉バドミントン＝三月二十日（日）午前は一般とファミリー、午後は高校生以下。

資格＝市民一般。学校のクラブ活動などは認めません。

その他＝用具のある方は持参、必ず運動ぐつを使用のこと。

新自治会長

順不同　敬称略

【町内自治会長】中院町＝稲原健太郎▽笠屋町＝鈴木一男▽鬪伽井町＝柏原栄之助▽元興寺町＝疋田陽▽奈良山町＝毛利四郎▽佐保川西町第一＝西田健太郎▽坊屋敷町＝稲村繁治▽菖蒲池町＝鎌田健蔵▽法華寺北町第一＝塚本健司▽半田突抜町＝上野武男▽秋篠早月町第三＝早崎啓三▽平清水町＝奥田安彦▽東鳴川町＝中北誠

おわび

二月十五日づけ「奈良市民だより」は、編集の都合により発行が遅れ、自治会長さんをはじめ配布を担当していただいている方々、市民みなさんにご迷惑をかけましたことをおわびいたします。

＝広報公聴課

三笠公民館

（市内大宮町二丁目、電話㊸〇五一五番）

【楽面づくり教室】三月十九・二十日の両日、午前九時三十分～午後五時。受講者は市内在住の男女二十人。受講希望者は往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を書いて三月十五日（必着）までに申込んでください。

南部公民館

（市内柴蘭町二九―一、電話㊸五九三一番）

公民館まつり　第七回「南部公民館まつり」を三月十三日（日）午前十時～午後四時に同館で開きます。この一年間同館を拠点に活躍した各グループの学習成果を発表し、友情と学習の輪を広げようというものです。内容は詩吟、民謡、紙芝居、生花、七宝焼き、料理、菓子づくりなど。

同好会員募集　南部公民館ではつぎの二つのグループ員を募集しています。希望者は往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を書いて三月二十日（必着）までに同館へ。定員はいずれも五十人（先着順）。

【詩吟同好会】とき＝四月七日から毎週木曜日、午後七時～同九時▽会費＝月額三百円▽講師＝北西仙岳氏（岳風流）

【ママさんコーラス】とき＝四月五日から毎月第一・三火曜日、午前十時～午後零時半▽会費＝月額四百円▽講師＝桑野靖子氏

中央武道場

（市内法蓮町鴻の池、電話㊸一〇六〇番）

剣道指導者研修会　市中央武道場（法蓮町鴻ノ池、電話㊸一〇六〇番）では市内の中学・高校および道場の指導者を対象に、幼少年の指導方法や剣道理念、日本剣道形などを盛りこんだ剣道指導者研修会をつぎのように開きます。

とき＝三月十九日（土）、二十日（日）いずれも午前九時半～午後五時▽申し込み＝三月十五日（必着）までに学校（または道場名）、氏名を書いて同武道場へはがきで申し込んでください。

勤労青少年ホーム

（市内大宮町二丁目、電話㊸〇五一六番）

青少年ボランティア講座　同ホームの利用者はもとより一般の勤労青少年が参加できますので、電話かはがきで同ホームへ申し込んでください。

サイクリングジュニアリーダーの検定講習会　市サイクリング協会では市教育委員会の後援で、サイクリングジュニアリーダー検定講習会を市青少年児童会館（八軒町）でつぎのように開きます。参加希望者は三月二十日（必着）までに市サイクリング協会（市内南永井町五五九の一、松井喜三方）へ往復ハガキに住所・氏名・学校名・電話番号を書いて申し込んでください。

とき＝三月二十五日（金）午前十一時半～午後五時▽内容＝講義、サイクリングの常識テスト、実技・技術テスト、走行実績チェック、成績発表▽受講者＝小学校六年以上の男女四十人▽参加費＝千円▽持参品＝自転車、筆記用具

奈良少年少女合唱団員募集

奈良少年少女合唱団（八軒町、市青少年児童会館内）では、つぎのように昭和五十二年度の団員を募集しています。

募集人員＝約六十人▽応募資格＝市内、近郊の小学校二～四年生で、なるべく中学三年生まで在団できる人▽応募方法＝はがきに、氏名・学校名・学年・住所・電話番号・保護者の氏名を書いて三月八日（必着）までに同合唱団へ。

なお入団選考など詳しいことは安藤宅（電話㊸一〇一九番）へ問合わせてください。

家族計画教室

西奈良保健センター

西奈良保健センター（登美ケ丘二丁目、電話㊸五九一一番）では母性保護のため、正しい家族計画の知識の普及をはかる「家族計画教室」をつぎのように開きます。受講希望の女性は電話で同センターへ。

とき＝三月十六日（水）午後一時半～三時半▽定員＝三十人▽内容＝講義、スライドと模型による指導

二十日まで固定資産税課税台帳の縦覧

固定資産税課では三月一日から二十日まで、昭和五十二年度分の固定資産税にかかる固定資産課税台帳の縦覧をします。市内に固定資産を所有している人はぜひ縦覧して下さい。

こんな人は届け出て下さい

原動機付自転車（一二五cc以下）、軽自動車、二輪の小型自動車（二五〇cc以上）、小型特殊自動車の所有登録している人で譲渡とか廃車、盗難などで現在実際には車を持っていない人は三月中につぎのそれぞれの窓口へ届けを出してください。届けがないと新年度になっても今までどおり税金がかかります。

【原動機付自転車、小型特殊自動車】譲渡・廃車＝標識交付証明書、ナンバープレート▽盗難＝標識交付証明書、盗難届け書。

以上の書類を添えて市市民税課へ。

【軽自動車、二輪の小型自動車】譲渡・廃車＝軽自動車届出済証か検査証、ナンバープレート▽盗難＝軽自動車届出済証か検査証、警察の盗難証明書、押印した理由書。

以上の書類を添えて、軽自動車は軽自動車検査協会奈良事務所（南京終町三丁目、電話㊶二〇一一番）へ、二輪の小型自動車は県陸運事務所登録課（南京終町二丁目、電話㊶六四三五番）へ。

一七三戸が下水処理区域に

市の下水道事業がすすみ、二月八日からつぎの各町の一部百七十三戸が浄化槽のいらない水洗便所がつかえるようになりました。これで今までの分をあわせると一万八千百七十五戸が下水道の便益を受けることになりました。

芝辻町二・三丁目▽川上町▽高畑町▽東紀寺町二・三丁目

ゴミ収集　春分の日の振替え

三月二十一日（月）「春分の日」の一般家庭ゴミ収集は休みます。この日にあたる区域は三月二十三日（水）に振替え収集いたします。

健康メモ

◉精神衛生を考えよう

三月ともなれば、天候も春めいてきます。ぽかぽかとした日があるかと思うと、急に冷え込んだりして、健康管理のむずかしいシーズンです。不摂生や精神的な不安定で何となく健康のバランスを崩すことも多くなります。精神衛生がやかましくいわれるのもそのためです。

社会生活が複雑微妙になり、一方では色んな公害が迫ってくるなど、気持ちのイライラが絶えません。そのため胃を悪くして消化不良を起こしたり、血圧やホルモンのバランスが崩れて高血圧や動脈硬化を起こし易くなります。

自分の好みに合った楽しみやレクリエーションを持って、上手に気分転換をはかることが大切。気候の変化に伴う健康管理はもちろんのこと、精神衛生にも配慮して生活のリズムを失わぬよう「よく働き、よく遊ぶ」ことも要領の一つでしょう。

春の日浴びて　親と子のつどい

27日、春日野グラウンド

市教育委員会では市内の青少年団体と共催で春の日ざしいっぱいの奈良公園でつぎのように「親と子のつどい」を催します。自由に参加できますので、弁当を持って運動のできる服装で気軽に会場へ来てください。

とき＝三月二十七日（日）午前九時三十分～午後三時三十分。▽ところ＝春日野グラウンド（市内循環バス大仏前下車）。▽プログラム＝①わんぱく広場②野外ステージ③フォークダンスの国④宝さがしの国（オリエンテーリング）⑤ふる里の国など。

なお詳しいことは社会教育課（電話㊹一一一一番）へ。

フォークダンスを楽しむつどい

市フォークダンス協会と市教育委員会が、だれでもすぐに覚えられる〝フォークダンスを楽しむ集い〟を三月十九日（土）午後一時～同四時に西部公民館（学園北二丁目）で開きます。日本フォークダンス連盟公認の講師が指導しますので、初心者も楽しく習えます。参加費はいりません。動きやすい服装で上ぐつを持参してください。

ツ反応検査とBCG接種

結核を予防するためツベルクリン反応検査とBCG接種をつぎの日程で行ないます。生後6カ月～3歳の子に1回ツベルクリン反応検査を行ない、陰性の子にBCG接種をすることになっています。

4歳以上になると個人で受けてもらわなければなりません。4歳未満でまだ1回もうけたことのない子には必ず受けさせてください。費用はいりません。あらためて通知はしませんから、該当児は直接もよりの会場へ連れて来てください。母子手帳とスリッパをお忘れなく。

月日 ツ反応	月日 BCG判定	時間	場所	中学校区（小学校区）
3.14（月）	3.16（水）	2:00～3:00	西奈良県民センター	登美ケ丘・二名（登美ケ丘・東登美ケ丘・二名）
3.15（火）	3.17（木）	2:00～3:00	伏見小学校	伏見
		2:00～3:00	勤労青少年ホーム	三笠
3.16（水）	3.18（金）	2:00～3:00	佐保小学校	若草
3.22（火）	3.24（木）	2:00～3:00	右京小学校	平城西
		1:30～2:00	田原公民館	田原
		2:30～3:00	柳生公民館	柳生
		3:30～4:00	相和小学校	興東
3.23（水）	3.25（金）	2:00～3:00	富雄中学校	富雄・名都二
		2:00～3:00	南部公民館	南
3.28（月）	3.30（水）	2:00～3:00	西奈良県民センター	登美ケ丘・二名（鶴舞・青和・二名）
3.29（火）	3.31（木）	2:00～3:00	済美小学校	春日
		2:00～3:00	椿井小学校	全校区

善意ありがとう　善意銀行

（昨年の分）

十一月十一日　法華寺から善意の小箱義金八千四十四円。

同十二日　椿井地区民生委員協議会から地域福祉活動資金として七千九百三円。▽阪新屋町富田和子さんから衣類十五点。▽椿井町村上一夫さんから三千円。▽百楽園二丁目武内毅さんから亡父の供養として百万円。▽あやめ池民生委員協議会（会長水野竹蔵さん）から善意の小箱義金六千五百円。

同十六日　法華寺東町鈴木一夫さんから奈良警察署を通じて二千二十円。

同十八日　都跡局消印愛の匿名定期便五千円。▽村鞆さん（住所不明）から衣類六点。

同十九日　生駒市高山町植田頼長さんから奈良警察署を通じて二千七十五円。▽川上東町石塚勝重さんから衣類四包。▽北和団地大橋研三さんから乳母車一台。

同二十二日　親愛幼稚園からバザー益金十万円と和楽園へ果物・野菜など五箱。

同二十四日　三条町シンデレラ美容室から奈良新聞社を通じて児童福祉資金として八万円。▽三碓町大谷勝康さんから児童福祉資金として二十万円。

同二十五日　中辻北方町松岡久子さんから奈良警察署を通じて老人福祉資金として四千五百円。▽八軒町美和友子さんから奈良警察署を通じて四千十六円。▽尼辻町大東ヒデさんから善意の小箱義金二千三百五十円。

同二十六日　船橋町八木喜代子さんから百万円。

十二月一日　中登美団地北村・操さんから三千円。

同二日　横領町吉田剛君からタンポポの会へ三万円。▽天理市石上町中村忠司さんから三千円。

同三日　敷島町小橋正夫さんから中古衣類五点。▽登美ケ丘四丁目藤山カヨさんから愛の定期便三千円。西大寺国見町一丁目蜷サトーから五万円。▽西大寺国見町一丁目奈良インターナショナルヘアードレッサークラブから五万円。▽西大寺本町井村幸太郎さんからみどりの家へ菓子十五袋。▽近鉄奈良駅前行基噴水のさい銭一万百十八円。

同四日　佐保万年青年クラブ第四部会から二万九千八百四十円。▽ボーイスカウト奈良第十八団から九万一千三百三十三円をあやめ池小・済美小の言語治療教室へ。

同七日　北永井町林喜義さんから中古衣類約十点。▽綿町安本イソさんから和楽園へ四千六百二十七円。

同八日　学園地区婦人会から大倭安宿園へ衣類千点。▽県立短期大学学生自治会から大学祭映画チャリティー益金八千円。

同九日　東笹鉾町匿名氏から二千円。▽坊屋敷町丸山精さんからなくなった愛娘供養のために十万円。

同十一日　芝辻町大西まさ子さんと小西ミサヲさんから長曽根寮へみかん二箱。▽若草中学校PTA有志から酒田市火災見舞として一万八千円。

同十三日　法蓮佐保町佐藤華洲さんから障害福祉にと十万円。▽済美地区民生委員協議会から善意の小箱義金一万一千九十三円。▽平城地区万年青年クラブから一円献金の七万二千五百六十九円。

同十四日　富雄婦人会中支部から一万円。▽あやめ池ほほえみ会から五千円。▽学園朝日元町中塚利雄さんから背広など衣類約二十点。▽学園南三丁目田中哲蒼さんから三万三千百八円。▽あやめ池生活学校から生活用品交換会による益金四千三十円。

同十五日　椿井町村上一夫さんから五千円。▽中町森本光子さんから奈良警察署を通じて五千円。▽菩提山町大原良さんから五千二百九十二円。

同十六日　肘塚町今井キクエさんから足袋三十足と背広一着。▽警多林町西野サダさんから寝たきり老人へ一〇万円。